

「今週の一枚」



コガタスズメバチの巣（スズメバチ科）

今年はスズメバチの巣が多いようです。とくに9－10月は働きバチの数が多く、次世代の女王を養うために巣の周りの活動が活発になるので注意が必要です。四国には数種類のスズメバチが生息しますが、どの種も巣の周辺に近づかなければまず刺してくることはありません。死に至る重大な刺症事故はたいていオオスズメバチによるものです。働きバチ数が500頭にも達する巨大な巣を作りますが、巣の場所が土中の空洞（まれに地上1－2mの樹洞）なので、なかなか見つかりません。一頭でもスズメバチを見かけたら、近くにオオスズメバチの巣があるものと考え、注意深く行動して下さい。キイロスズメバチは、軒下や屋根裏に巣を造ることが多く、しかも攻撃性が強いので、刺症事故の件数が最も多い種です。コガタスズメバチは写真のように木の枝に、クロスズメバチやヒメスズメバチは土中や樹洞に巣を造ります。性質は比較的穏やかですが、草刈り作業などで巣を刺激すると攻撃されます。特異体質の人は、どのスズメバチに刺されても急速な血圧低下を含む全身症状（アレルギー性ショック）を併発して死亡することがあります。ハチに刺されてじんま疹や息苦しさなどの症状を経験したことのある方は、2度とハチに刺されないように注意し、もし刺されたら30分以内に治療を受けて下さい。（前藤）

（No.16 2001.9.17 掲載）